

宮城県感染症発生動向調査情報

令和8年8月13日発行

2026.8.3 ~ 2026.8.9 ー第32週ー

1. 集計

上段は患者発生数、下段は定点当たり

疾 病		保 健 所					仙 台 市	宮 城 県 (含む仙台市)	
		仙南	塩釜	大崎	石巻	気仙沼		患者数	累計
急性呼吸器 感染症定点	急性呼吸器感染症 *1	339 67.80	358 35.80	404 80.80	369 73.80	162 40.50	1,462 56.23	3,094 56.25	119,996
	インフルエンザ *2		44 4.40	2 0.40	5 1.00	6 1.50	33 1.27	90 1.64	17,280
	新型コロナウイルス感染症 *2	1 0.20	3 0.30	2 0.40	4 0.80	2 0.50	7 0.27	19 0.35	3,200
小児科定点	RSウイルス感染症 *2	1 0.50	2 0.33	1 0.33	2 0.67	2 1.00	10 0.67	18 0.58	368
	咽頭結膜熱 *2		1 0.17				4 0.27	5 0.16	249
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 *2	3 1.50	12 2.00	1 0.33	7 2.33		17 1.13	40 1.29	2,093
	感染性胃腸炎	16 8.00	10 1.67	3 1.00	3 1.00	22 11.00	37 2.47	91 2.94	4,278
	水痘			1 0.33		1 0.50	1 0.07	3 0.10	376
	手足口病	28 14.00	56 9.33	47 15.67	18 6.00	8 4.00	167 11.13	324 10.45	1,400
	伝染性紅斑							0	84
	突発性発しん	1 0.50	4 0.67	2 0.67	1 0.33	1 0.50	4 0.27	13 0.42	256
	ヘルパンギーナ *2	2 1.00	8 1.33	32 10.67	11 3.67	4 2.00	43 2.87	100 3.23	356
	流行性耳下腺炎			1 0.33				1 0.03	23
	急性出血性結膜炎							0	2
眼科定点	流行性角結膜炎						4 0.67	4 0.33	190
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)							0	3
基幹定点	クラミア肺炎(オウム病は除く)							0	0
	細菌性髄膜炎(真菌性を含む)							0	6
	マイコプラズマ肺炎	1 1.00	1 1.00					2 0.20	71
	無菌性髄膜炎							0	3
拡 張 疾 病	マイコプラズマ肺炎(小児科)	5	2		4		2		
	川崎病			2			2		
	不明発疹症								

*1 急性呼吸器感染症は、急性の上気道炎(鼻炎、副鼻腔炎、中耳炎、咽頭炎、喉頭炎)又は下気道炎(気管支炎、細気管支炎、肺炎)を指す病原体による症候群の総称です。
*2 急性呼吸器感染症に含まれる感染症

【入院患者(仙台市を含む基幹定点報告)】

インフルエンザ: 4例(前週比較: +4例)
新型コロナウイルス感染症: 1例(前週比較: +1例)
* 定点医療機関の院内感染を反映することもあります。

【病原体検出情報】

～宮城県保健環境センター～
急性呼吸器感染症患者より
第32週採取分(6検体)
エンテロウイルス属 1件、パラインフルエンザウイルス3型 1件、
陰性 4件
※ 一つの検体から複数の病原体が検出されることがあります。

【新型コロナウイルス ゲノム解析結果】 1/8に情報更新

解析結果は下記URLを参照ください。
<https://www.pref.miyagi.jp/site/covid-19/02-02.html>

参考 ～仙台医療センターウイルスセンターウイルス分離情報～

検査結果は下記URLを参照ください。
<https://nsmc.hosp.go.jp/Subject/26/virus/weekly.html>

2. 全数報告疾病

1類感染症: 報告なし
2類感染症: 結核
3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症
仙南管内 男性1名、女性2名
塩釜管内 女性1名(O157)
大崎管内 男性1名(O152)
仙台管内 女性2名(O型不明)、女性1名(O157)
4類感染症: レジオネラ症
塩釜管内 女性1名
大崎管内 男性1名
仙台管内 男性1名
5類感染症: 侵襲性インフルエンザ菌感染症
仙台管内 男性1名
侵襲性肺炎球菌感染症
仙台管内 男性1名(第29週)
梅毒
大崎管内 男性1名、女性1名
仙台管内 男性1名(第31週)、男性2名、
女性1名(第30週)、女性2名

3. 宮城県感染症対策委員会情報解析部会

【定点把握対象疾患】

令和7年第15週から、国の基準が見直されるまでの間、警報開始/継続基準値及び注意報開始基準値については参考値として取り扱います。

宮城県保健環境センター(宮城県結核・感染症情報センター)
電話 022-257-7228 FAX 022-256-3362
HPアドレス: <https://www.pref.miyagi.jp/site/hokans/kansen-center.html>
宮城県保健福祉部疾病・感染症対策課
電話 022-211-3644

4. 今週のコメント

【手足口病】

県内の定点当たりの患者報告数は、前週の9.71人から10.45人へと第25週以降、増加が続いており、県内全ての管内で、令和6年度まで運用していた警報発表基準値を上回っています。感染予防には、咳エチケットや日常的な手洗い、おむつ処理後は石鹸で十分に手洗いを、タオルの共用は避けるなどの対策が重要です。感染対策の徹底に努めましょう。

【ヘルパンギーナ】

県内の定点当たりの患者報告数は、前週の2.65人から3.23人へと第26週以降、増加が続いています。ヘルパンギーナは、発熱とともにのどに痛みと水疱が現れる夏風邪の一種で、乳幼児を中心に夏に流行します。
原因は手足口病と同じ種類のウイルスですので、同様な感染対策が効果的です。

【インフルエンザ】

県内の定点当たりの患者報告数が増加傾向にあり、特に塩釜、仙台南で増加が見られます。今週の定点当たりの患者報告数は1.64人で、流行の目安とされる1人を超えています。また、入院患者報告も4例発生しています。咳エチケットの徹底、こまめな換気や手洗いなどの基本的な感染対策を心がけ、今後の動向に注意しましょう。

